

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2014-66700(P2014-66700A)

【公開日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-019

【出願番号】特願2013-152527(P2013-152527)

【国際特許分類】

G 0 1 C	19/72	(2006.01)
G 0 1 P	15/10	(2006.01)
G 0 1 P	15/18	(2013.01)
G 0 2 B	6/122	(2006.01)
H 0 1 L	29/84	(2006.01)

【F I】

G 0 1 C	19/72	C
G 0 1 P	15/10	
G 0 1 P	15/00	K
G 0 2 B	6/12	B
H 0 1 L	29/84	A

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

集積された干渉ジャイロスコープおよび加速度計デバイスであって、該デバイスが、

共振カンチレバービームと、

前記共振カンチレバービームを取り囲む領域と

を備えた基板と、

前記共振カンチレバービームと加速度軸方向に沿って配置された共鳴キャビティを備えたパッケージと、

前記共振カンチレバービーム内に組み入れられたドライバであって、前記共振カンチレバービームを熱電的に共鳴するように構成されたことを特徴とするドライバと、

前記共振カンチレバービーム内に組み入れられたセンサであって、前記共振カンチレバービームの面外の加速力に関する信号を感知するように構成されることを特徴とするセンサと、

前記基板の前記領域上で前記共振カンチレバービームを取り囲む光導波路を備えた半導体干渉光学ジャイロであって、加速力に相当するベクトルとおおよそ等しい軸を中心に回転運動を感知するように構成されているジャイロと

を有することを特徴とする、デバイス。

【請求項2】

回転力および加速力を感知するための方法であって、

共振カンチレバービームを熱電的に共鳴させるステップと、

共振カンチレバービームの面外の加速力に関する信号を感知するステップと、

加速力に相当するベクトルとおおよそ等しい軸を中心に共振カンチレバービームの回転運動を感知するステップと
を有し、

前記回転運動を感知するステップが、前記共振カンチレバービームを取り囲む基板の領域に組み入れられた光導波路を備えた半導体干渉光学ジャイロを使用することを有することを特徴とする方法。

【請求項 3】

前記共振カンチレバービームを熱電的に共鳴させるステップが、ピエゾ抵抗器ドライバで共振カンチレバービームを熱電的に共鳴させることからなり、前記加速力に関する信号を感知するステップが、ピエゾ抵抗器センサで信号を感知することからなることを特徴とする請求項 2 に記載の方法。